



| |
|---------------------|
| 発行 |
| 平成27年1月 |
| 発行所 |
| (社)寒川町シルバー人材センター |
| 寒川町小動982-2 |
| TEL. 0467 (74) 7622 |
| FAX. 0467 (73) 0033 |
| 会員数 男性 272名 |
| 女性 76名 |
| 計 348名 |
| (平成 26 年 12 月末現在) |



写真：猿渡政吾（会員）



| | |
|--------------|---|
| 年頭のご挨拶 | 2 |
| 新役員紹介 | 3 |
| 安全就業推進委員 | 3 |
| ボランティア活動 | 4 |
| 産業まつり | 4 |
| ふれあいの会 | 5 |
| 会員投稿 | 5 |
| 所得税の取り扱いについて | 6 |
| 新会員紹介 | 7 |
| 事務局便り | 8 |

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は当シルバー人材センターの事業運営に、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、ノーベル賞受賞3名等明るい話題もありましたが、広島での土砂災害や御嶽山の噴火など大規模な自然災害で多数の死者が出るなど暗いニュースの多い年でした。

幸いにも当町では大きな災害もなく、当シルバー人材セ



年頭のごあいさつ

公益社団法人 寒川町シルバー人材センター

理事長 大川 壽一

ンターの事業実績は、前年比105%前後と消費税増税の中でも順調に推移しております。政府の経済対策「アベノミクス」も3年目を迎える景気の回復に期待をしておりますが、事業の推進には会員の皆様と役職員が就業機会の開拓や創出に一丸となつて取り組むことが肝要だと考えます。

結びに皆様には本年がよい年でありますよう、また健康でご活躍されますようお祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

また、本年は当シルバー人材センターが創立されて満20年の節目の年に当たります。バブル経済が崩壊し景気が低迷する中で20年、先人のご苦労も多かったことと拝察いたしますが、町当局のご理解と

会員の皆様と役職員が一体と



| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|---------|-------|-------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|------|------|-----|------|------|
| 事務局職員 | 事務局職員 | 事務局長 | 事務局 | 理 | 理 | 理 | 理 | 理 | 理 | 理 | 理 | 理 | 理 | 理 | 副理事長 | 常務理事 | 理事長 | 伊藤雅男 | 大川正三 |
| 蓮 鈴 木 | 木 山 高 平 | 高 村 崎 | 高 村 崎 | 伊勢村 | 鈴 木 置 澄 | 永 井 啓 隆 | 柏 木 利 雄 | 佐 木 秀 子 | 富 田 登 郎 | 岡 木 厚 郎 | 岡 木 厚 郎 | 岡 木 厚 郎 | 岡 木 厚 郎 | 岡 木 厚 郎 | 菊川雅 | 中間 | 大川 | 正三 | 大川正三 |
| 見 木 | 木 村 仲 橋 | 高 橋 伸 | 野 伸 | 修 次 | 木 置 澄 | 井 啓 隆 | 利 雄 | 登 郎 | 田 登 郎 | 田 登 郎 | 田 登 郎 | 田 登 郎 | 田 登 郎 | 田 登 郎 | 川 | 間 | 川 | 雅 | 大川正三 |
| 史 和 仁 | 樹 弘 史 | 和 郁 | 郁 倍 | 修 次 | 輝 庄 | 利 雄 | 雄 廣 | 秀 子 | 國 登 郎 | 廣 郎 | 廣 郎 | 廣 郎 | 廣 郎 | 廣 郎 | 藤 | 間 | 藤 | 雅 | 大川正三 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

明けまして
おめでとう
ございます

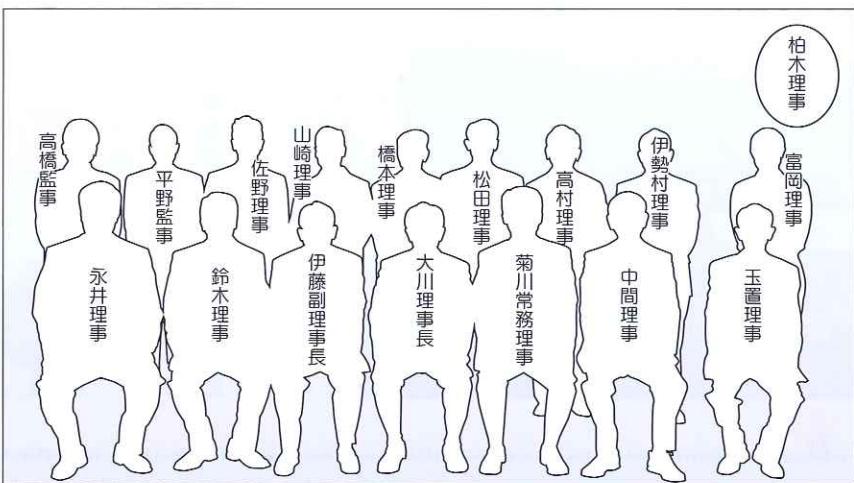




新役員紹介

5月29日に開催されました第2回定期総会にて、新たに役員として、次の方々が選任されました。

任期は平成26年5月29日から平成28年に行われる定期総会までになります。



寒川町シルバー人材センターの委員会は主に三つあります。広報委員会・会員交流会実行委員会・そして私たちの安全就業委員会です。

委員会の主たる目的は、会員皆様の日頃の就業に対しても、また、その現場への通勤に事故にあわないようしていただきのが最大のことです。

任期は二年間、活動内容は、年に四、五回の会合を開き、近況報告を受け、作業現場への見廻り、事故現場への確認作業になります。

事故現場の例をあげますと結論として申し上げれば、若い時であれば未然に防止できであろうと思われる骨折事故、通勤途上、少々の登り道、向かい風で自転車もろとも田んぼに落下し手首骨折、若い

安全就業推進委員より

安全就業推進委員
委員長 伊藤 正三

つもりでつい事故に。しかしながら現在までおかげさまで重篤事故はありません。事故0にしたいものです。

最近、神奈川県シルバー人材センター連合会事故防止委員会より、安全適正ガイドラインの通達がきました。ペナルティ制度の導入が叫ばれています。

とりもなおさず事故防止を目的として会員の皆様の立場になり、安全就業を推進し事故防止をすることに力を入れてきています。

私たち安全就業推進委員もこの流れに乗り全委員で最大限努力をしてまいりますので会員皆様のご支援を今まで以上によろしくお願ひ申し上げます。

ボランティア活動



毎年恒例のシルバー人材センターのボランティア活動が例年より一ヶ月早い、シルバー月間の十月二十七日に中央公園及び周辺道路にて実施されました。

今年は一四七名にご参加いただき午前九時より約一時間で四〇〇kgのゴミが回収されました。ご協力ありがとうございました。



産業まつり



当日の様子

さる十一月十六日、さむかわ中央公園にて第三十回寒川町産業まつりが開催されました。

当センターでは例年通り手

作りのコンニャク六五〇丁とシルバー農園で収穫したサツマイモならびに里芋二八〇袋を販売し一時間で完売となりました。

新しく誕生した

「ふれあいの会」を

ご紹介します

子どもに

将棋指導して

感じたこと

の皆様のお力を借りて合同で進行
してまいります、
よろしくお願ひします。

明けましておめでとうございま
す

御存知のようにシルバー人材セ
ンターは公益法人になつて三年に
なります。

会員の皆さんとの旅行など交流
の場がなくなりました。

仕事だけではなく、年に一、二回
の旅行や趣味を生かしたサークル
活動（カラオケ、ダンス、ウォー
キング等）を楽しむお互いの交流
の場が出来たらとの話を聞きまし
た。



会員投稿

ふれあいの会

役員

羽田

伊藤

正三

恩田 隆吉



三年前から各班の正副班長の参
加希望者で忘年会や新年会を続け
ています。この席でも親睦やサー
クルの話がでて、それならやつて
みようかということになり、参加
者全員の賛成で決まりました。

今年から、この目標に向けて
やつていこうと思つています。
つきましては、交流会実行委員

い成績をあげたよ」と聞かされ
たときは、自分のことのようにな
う嬉しいきもちになります。

子どもは、大人と違い何回負

けても一回勝つことで悔しさも
一気に吹き飛び、負けた勝負が
今後においてよい教訓となります。

シルバーのみなさまには、物
忘れをするようなことはあります
せんか、私は夕べ食べたおかげ
が何だったか思い出せないことが
度々あります。

指導者は私を含め高齢者のボラ
ンティア六名で対応しています。
子供は毎回五名程度参加してい
ます。将棋の知識もさまざまです
。駒の動かし方がわからない子、
駒の読み方を知らない子、また両親や、
祖父から教わつたり、実戦対局をして
いる子など、指導する側も大変なところがあ
ります。

高齢になれば誰もがこの悩み
を経験することですが、将棋・
囲碁を趣味に持ち、脳の活性化
を図つてみてはいかがでしょうか。

藤沢 豊治

配分金収入等に対する所得税の取り扱いについて

シルバー人材センターで得た配分金収入等に対する所得税の取り扱いは、以下のとおりです。

(平成26年12月現在)

1. 配分金収入は、所得税法上「公的年金等以外の雑所得」に区別されます。公的年金等以外の雑所得の金額は、原則として総収入金額から必要経費を控除した金額です。
したがって、配分金収入に係る必要経費がある場合、配分金収入から必要経費の金額を控除できます。
2. しかし、必要経費の額が65万円未満の場合は、租税特別措置法第27条の適用により、65万円を上限として控除できます（ただし、収入金額を限度とします）。

なお、給与収入がある会員は、配分金収入に係る控除額は、65万円から給与所得控除額を控除した残額となります。

3. 公的年金等を受給している会員は、配分金収入とは別に公的年金等控除額を控除した残額となります。
- [必要経費の金額が65万円未満の場合の例示]

[設例] センターの会員（66歳）の年間収入は、次のようなものでした。

| | | |
|----------|-------|-----------------------|
| ①配分金収入 | 54万円 | |
| ②必要経費 | 10万円 | |
| ③給与収入 | 18万円 | （アルバイト等、配分金以外の給与収入など） |
| ④公的年金等収入 | 150万円 | |

(1)給与所得の金額

$$\begin{array}{lll} \text{(給与収入)} & \text{(給与所得控除額)} & \text{(給与所得の金額)} \\ 180,000\text{円} & - 180,000\text{円} & = 0 \end{array}$$

(2)配分金収入に係る雑所得の金額

$$\begin{array}{lll} \text{(最低保障額)} & \text{(給与所得控除額)} & \text{[最低保証額の残額]} \\ 650,000\text{円} & - 180,000\text{円} & = 470,000\text{円} \\ \text{(最低保障額の残額)} & \text{(必要経費)} & \text{[雑所得（配分金所得）分の特例経費]} \\ 470,000\text{円} & > 100,000\text{円} & \rightarrow 470,000\text{円} \rightarrow \text{最低保障額の残額で頭打ち} \end{array}$$

従って、この場合

$540,000\text{円} - 470,000\text{円} = 70,000\text{円}$ が配分金収入に係る雑所得の金額となります。→ (A)

(3)公的年金等収入に係る雑所得の金額

$$\begin{array}{lll} \text{(公的年金収入)} & \text{(公的年金等控除額)} & \text{(公的年金等の雑所得の金額)} \\ 1,500,000\text{円} & - 1,200,000\text{円} & = 300,000\text{円} \\ \text{公的年金等の雑所得の金額については、「公的年金等に係る雑所得の速算表」(確定申告の手引き内に記載されています。)から算出してください。} \end{array}$$

従って、この場合300,000円が公的年金等の雑所得の金額になります。→ (B)

(4)課税される所得金額の計算

雑所得の金額（配分金収入、公的年金等収入に係る所得合計額）

$$(A) + (B) = 370,000\text{円}$$

(1)より給与所得は0なので370,000円がこの会員の合計所得金額になります。

(基礎控除)

$$370,000\text{円} - 380,000\text{円} = (\text{マイナスになるので } 0)$$

従って、この会員の場合、課税所得はないので所得税及び復興特別所得税の確定申告は必要ありません。（住民税は別になります。）

平成23年分以後の各年分について、公的年金等の収入金額の合計額が400万円以下で、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には所得税及び復興特別所得税の確定申告をする必要がなくなりました。

※この場合であっても、所得税の還付を受けるための確定申告書を提出することができます。

※所得税及び復興特別所得税の確定申告が必要ない場合であっても、住民税の申告が必要な場合があります。住民税に関する詳しいことは寒川町総務部税務課町民税担当におたずねください。

『新会員紹介』

平成二十五年二月から平成
二十六年十二月に入会された
方々です。

平成二十五年二月入会

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|----|-------|
| 加藤 | 中成 | 石川 | 山谷 | 瀬川 | 佐藤 | 岸田 | 橋本 | 河野 | 野口 | 河野 | 河野 | 河野 | 河野 |
| 藤 | 成 | 川 | 谷 | 山 | 三 | 田 | 本 | 野 | 口 | 政 | 本 | 幸 | 本 |
| 悦 | 春 | 田 | 黑 | 山 | 堀 | 邦 | 幸 | 英 | 山 | 矩 | 幸 | 夫 | (大曲) |
| 子 | 満 | 江 | 敏 | 光 | 藤 | 恭 | 雄 | 雄 | 雄 | (岡田) | 良 | 健 | 一 |
| (一之宮) | (宮山) | (倉見) | (田端) | (宮山) | (宮山) | (田端) | (宮山) | (田端) | (宮山) | (岡田) | 真 | 一 | (一之宮) |

平成十五年五月入会

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 畠 | 菅 | 福 | 小 | 佐 | 北 | 村 | 永 | 寺 | 嶋 | 飯 | 田 | 村 | 柿 |
| 中 | 野 | 岡 | 塚 | 藤 | 原 | 越 | 島 | 田 | 崎 | 瀧 | 澤 | 澤 | 澤 |
| 武 | 喜 | 節 | 英 | 重 | 正 | 三 | 財 | 木 | 雄 | 久 | 春 | 行 | 春 |
| 男 | 春 | 子 | 夫 | 周 | 秋 | 郎 | 二 | 國 | 三 | 乙 | 良 | （岡田） | （倉見） |
| (岡田) | (中瀬) | (宮山) | (宮山) | (岡田) | (岡田) | (倉見) | (宮山) | (小谷) | (倉見) | (中瀬) | (倉見) | (岡田) | (倉見) |

平成二十六年一月入会

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|--------|--------|------|-------|------|
| 青江 | 土本 | 若松 | 夏莉 | 桐ヶ谷 | 磯崎 | 齋藤 | 下村 | 末木 | 茶木 | 須藤 | 津久井 | 樺村 | 柿 |
| 木尻 | 田間 | 光義 | 文孝 | (倉見) | 廣美 | 義雄 | (倉見) | 孝志 | 幹夫 | 桂子 | (倉見) | 久雄 | 澤 |
| 晴正 | 章男 | 豊司 | 夫 | (倉見) | 文生 | (倉見) | (一之宮) | (一之宮) | 一(一之宮) | 一(一之宮) | (倉見) | 孝(倉見) | 行 |
| (倉見) | (大曲) | (倉見) | (倉見) | (倉見) | (倉見) | (倉見) | (倉見) | (倉見) | (倉見) | (倉見) | (倉見) | (倉見) | (倉見) |

平成二十六年四月入会

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|-------|------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| 加藤 | 吉岡 | 矢島 | 岩田 | 高橋 | 市川 | 宮下 | 岩田 | 高橋 | 市川 | 宮下 | 岩田 | 高橋 | 市川 |
| 藤 | 幸春 | 義美 | 英雄 | 邑年 | 静雄 | 洋 | 英雄 | 邑年 | 静雄 | 洋 | 英雄 | 邑年 | 静雄 |
| 仁 | (一之宮) | (中瀬) | (小谷) | (一之宮) | (倉見) |

平成二十六年十一月入会

| | |
|--------|-------|
| 清井 博恵 | (宮山) |
| 藤極 東洋一 | (倉見) |
| 三橋 優江 | (倉見) |
| 高松 輝子 | (小谷) |
| 佐々木 静子 | (倉見) |
| 渡辺 菊枝 | (宮山) |
| 塚原 正 | (中瀬) |
| 渋谷 菊枝 | (宮山) |
| 前田 代栄 | (倉見) |
| 田代 栄治 | (倉見) |
| 岩田 宏建 | (岡田) |
| 竹田 亜洋 | (宮山) |
| 伊藤 実子 | (岡田) |
| 外山 岩房 | (宮山) |
| 小泉 田房 | (宮山) |
| 大瀧 田房 | (宮山) |
| 水泉 宏建 | (宮山) |
| 敬治 則子 | (倉見) |
| さだ子 则子 | (一之宮) |
| さだ子 善明 | (倉見) |
| (倉見) | (一之宮) |

平成二十六年十二月入会

町ふれあいセンター 2階 会議室

平成27年2月20日（金曜日）
午前10時から正午

入会説明会開催

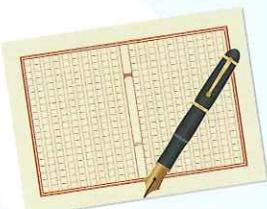
入会説明会を左記日時にて開催します。
お友達や、ご近所様の参加もお待ちして
います。

事務局だより

会員投稿募集

広報委員会では会員の皆様からの投稿
をお待ちしております。

趣味、特技、写真
や旅行記からサーク
ルなどのお仲間募集
なんでも構いません。
ぜひご投稿ください。



編集後記

明けましておめでとうございます。

今年は未年です。羊は群れをなすことから
「家族の安泰」「平和」を表すといわれてい
ます。皆様におかれましても、また、今年、
二十周年を迎える当シルバー人材センターに
とつても、穏やかな一年になりますように祈
念いたします。



広報委員
鈴吉 中山
木田 崎村
与志男 雅俊
樹 俊